

2024（令和6）年度

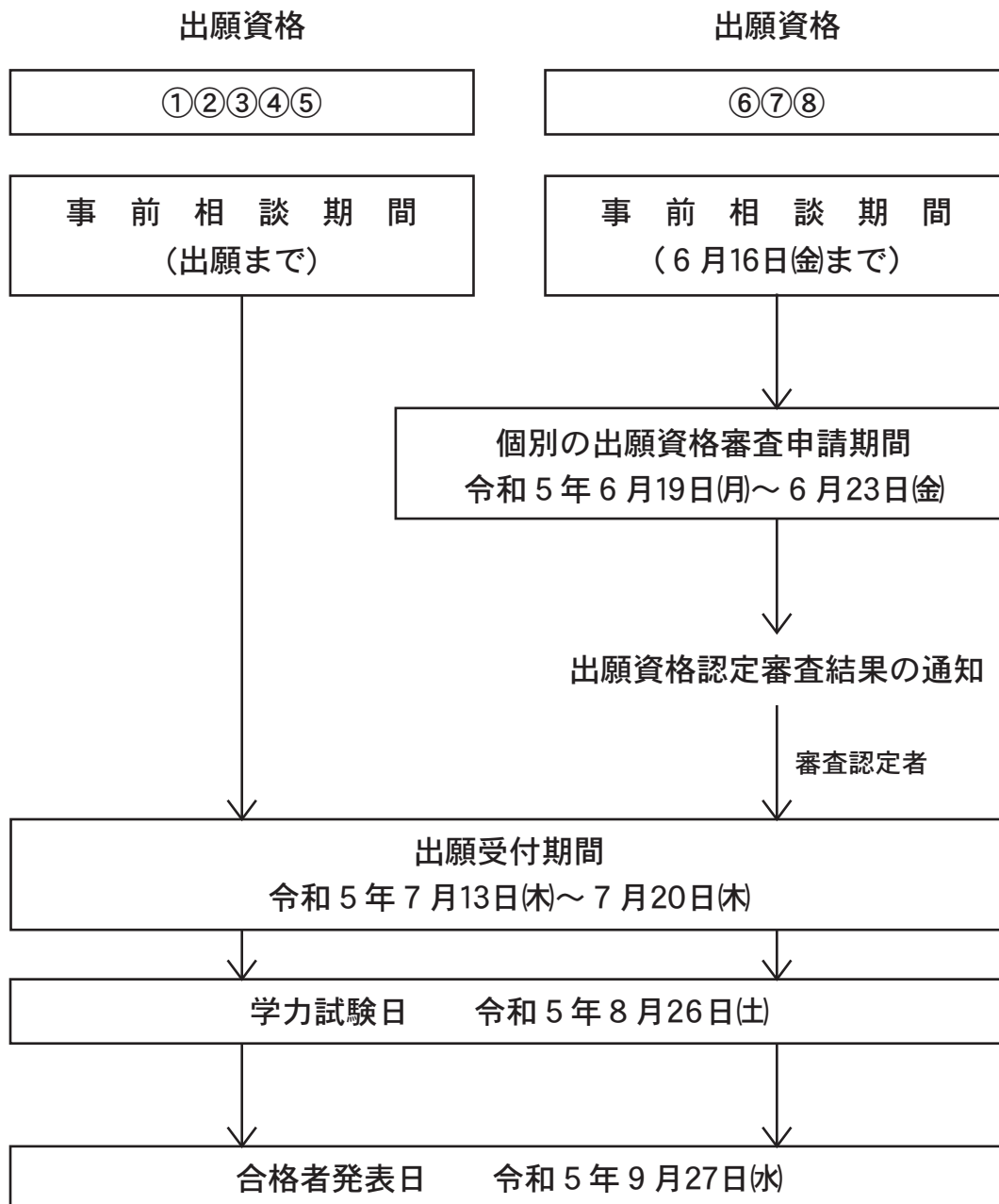
徳島大学大学院保健科学研究科
保健学専攻（博士後期課程）

学 生 募 集 要 項

（一般入試・社会人入試・私費外国人留学生入試）

徳 島 大 学

令和 6 年度 徳島大学大学院保健科学研究科博士後期課程入試実施日程



目 次

1	受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2	募集人員等	2
3	入試区分	2
4	出願資格	3
5	個別の出願資格審査	3
6	出願手続等	6
7	事前相談	7
8	大学院設置基準に基づく授業時間などの特別措置	8
9	入試方法	8
10	学力試験の日時及び試験会場等	9
11	合格発表	9
12	入学手続等	9
13	長期履修学生制度について	10
14	障がいのある入学志願者との事前相談について	10
15	徳島大学ゆめ奨学生について	10
	領域・分野の概要	11

1 受入方針（アドミッション・ポリシー）

【全学】

徳島大学は、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、卓越した学術および文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

○博士後期課程及び博士課程

- ・ 広い視野と高度な専門知識・技能を身につけ、自立して研究を遂行し後進を指導する能力、又は当該専門的な職業を牽引できる卓越した能力を修得しようとする人
- ・ 高い倫理観と強固な責任感、独自の発想力や豊かな創造力、広範な応用力、深い洞察力をもって、地域と国際社会の発展のために高度に貢献しようとする人
- ・ 高度な国際的視野を有し、世界をリードする研究成果を発信し、高度専門分野を牽引しようとする人

【保健科学研究科】

保健科学研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、豊かな人間性とともに関地臨床に役立つ新しい知識・技術を有し、人々の健康の維持・増進に資する高度な実践力・研究力を獲得することができる、次のような人を求めています。

【保健科学研究科博士後期課程】

保健科学研究科博士後期課程では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、関地臨床に役立つ新しい知識をもち、健康の維持・増進に資することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

- ・ 臨床応用を志向し、かつ健康増進と疾病の予防、医療、回復支援及び生活支援に資する学問を推進、発展させることに意欲を持っている人
- ・ 従来の学問の枠組みでは対応しきれない新しい医療に果敢に取り組む気概のある人
- ・ 最新の医療に関する知識を吸収・理解する熱意と能力を有し、将来、保健科学における教育者、研究者を志望する人

【保健学専攻】

保健学専攻では、関地臨床に役立つ新しい知識をもち、健康の維持・増進に資することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

（知識・技能、関心・意欲）

- ・ 高度専門職業人として、地域社会の保健医療に貢献する意欲の高い人

（思考力・判断力・表現力等の能力）

- ・ 医療人としての豊かな人間性を有し、これまでに修得した知識や技能に基づき、適切に判断し表現することができる人

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

- ・自ら探求する姿勢を持ち学際的に協働して研究することができる人

●入学者選抜の基本方針

一般入試

個別学力試験では、専門分野に関する英語力を含めた知識・技能を評価します。

面接は、試問試験を含み、知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

社会人入試

個別学力試験では、専門分野に関する英語力を含めた知識・技能を評価します。

面接は、試問試験を含み、知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

私費外国人入試

口頭試問では、英語力および専門分野に関する知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

2 募集人員等

表1

専攻	領域	分野	学位	募集人員
保健学	※生涯健康支援学	生涯健康支援看護学	博士 (保健学)	5名
		生涯健康支援医療学		
	医用情報科学	医用情報科学		
	医用検査学	病態制御保健学		

- ・募集人員には、社会人・私費外国人留学生を含みます。

※ 生涯健康支援学領域では、外国連携大学院（シリマン大学もしくはセントポール大学）と合同で共同学位（PhD in Nursing）を得る教育プログラムを設けています。

派遣を希望する学生は、入学試験合格後、指導を希望する指導教員に相談の上、教育・研究委員会に申請し、許可を受けることとなります（国際連携大学院プログラムの募集要項参照）。入学時に看護師免許を取得していることを必須とします。

3 入試区分

- ・全分野・領域にわたって「一般入試」、「社会人入試」及び「私費外国人留学生入試」を行います。
- ・出願できるのはいずれか一方です。
- ・出願後の入試区分変更はできません。

4 出願資格

出願できる者は、次のいずれかに該当する者としてします。

(1) 一般入試・私費外国人留学生入試

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者(令和6年3月31日までに取得見込みの者を含む。)
- ② 外国において、修士の学位に相当する学位又は専門職学位を授与された者(令和6年3月31日までに取得見込みの者を含む。)
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者(令和6年3月31日までに取得見込みの者を含む。)
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者(令和6年3月31日までに取得見込みの者を含む。)
- ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥ 外国の学校、④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑦ 平成元年文部省告示第118号をもって文部科学大臣の指定した者
 1. 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本保健科学研究科において当該研究の成果等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育の16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本保健科学研究科において当該研究の成果等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑧ 本保健科学研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6年4月1日までに24歳に達する者

(2) 社会人入試

社会人入試に出願できる者は、上記「一般入試の出願資格」のいずれかに該当し、医療・保健・福祉施設、教育機関、官公庁、企業等に職員として勤務しており、入学後もその身分を有するか、又は入学後に身分を有し、勤務(予定)先の許可を得た者としてします。

5 個別の出願資格審査

出願資格⑥、⑦、⑧により出願を希望する者は、あらかじめ個別に出願資格認定審査を受けてください。

(1) 申請期間等

① 申請期間

令和5年6月19日(月)～6月23日(金)まで(必着)

② 申請手続の方法

- ・申請者は、申請手続に必要な書類を郵送(必ず書留又は書留速達で発送してください。締切当日必着)又は持参(土・日・祝日除く)により提出してください。(提出先10ページ参照)

③ 出願資格認定審査結果の通知

- ・出願資格認定審査結果は、令和5年7月12日(水)までに、本人宛に郵送で通知します。
- ・認定された者は、所定の期間内に出願手続をしてください。

(2) 審査の方法

- ・出願資格認定審査は、出願に先立ち、提出書類に基づいて行われます。
- ・出願資格⑧による出願者の審査は、次の出願資格⑧による出願者に対する審査基準に従って行われます。

出願資格⑧による出願者に対する審査基準

・生涯健康支援学領域

- ① 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された後、5年以上の実務経験があり、かつ、学術論文を5編以上(内3編は筆頭著者)を有する者
- ② 短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校の卒業後又はその他の教育施設の修了後、大学、企業及び公設の研究所等において5年以上研究に従事するか、又は5年以上の実務経験があり、かつ、学術論文を5編以上(内3編は筆頭著者)を有する者

・医用情報科学領域

大学、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程又は各種学校を修了し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、医療、保健、福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において令和6年3月までに3年以上の実務経験(通算可)を有し、著書、学術論文、研究発表等により本学大学院保健科学研究科修士課程修了と同等以上の学力があると認められる者

・医用検査学領域

- ① 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された後、2年以上の実務経験があり、かつ、著書、学術論文、学術講演及び学術報告書等において本学大学院保健科学研究科修士課程修了と同等以上の学力があると認められる者
- ② 短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校の卒業後又はその他の教育施設の修了後、医療、保健、福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において4年以上研究に従事するか、又は4年以上の実務経験があり、かつ、著書、学術論文、学術講演及び学術報告書等において本学大学院保健科学研究科修士課程修了と同等以上の学力があると認められる者

(3) 提出書類

出願資格⑥、⑦、⑧により出願しようとする者は、表2の書類を提出してください。

表2

提出書類	摘要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙
② 成績証明書	最終出身学校長が作成し、厳封したものとします。 短期大学又は高等専門学校の特攻科の修了者は、短期大学又は高等専門学校の成績証明書と特攻科の成績証明書を提出してください。
③ 最終学校卒業証明書	最終出身学校長が作成したものを提出してください。 中途退学者は、退学証明書又は在学期間証明書を提出してください。
④ 履歴書	入学願書の裏面（履歴事項）をコピーし、作成してください。
⑤ 研究業績目録	本要項に添付の所定の様式を使用して作成してください。書面が不足する場合は、同様の様式を作成の上、使用してください。また、それぞれの業績の証拠となる資料（写し）についても、あわせて提出してください。
⑥ 研究計画書	本要項に添付の所定用紙に以下の事項を記入してください。 1. これまでの研究成果 2. 今後の研究計画
⑦ 在職期間等の証明書	在職期間及び職種について、勤務先の所属長が作成した証明書（様式任意）
⑧ 審査結果通知用返信封筒	長形3号の封筒に本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、344円の切手を貼ったもの

(注1) 各証明書の姓が旧姓となっている場合は、現在の姓との関係を証明できる公的文書（戸籍抄本等）を添付してください。

6 出願手続等

(1) 出願書類

入学志願者は下記の表3に示す「出願書類」を一括取り揃え、所定の期日までに蔵本事務部医学部学務課第二教務係に提出してください。

表3 出願書類一覧

出 願 書 類	生涯健康支援学領域	医用情報科学領域	医用検査学領域	摘 要
①入 学 願 書	◎	◎	◎	本要項に添付の所定用紙。裏面（履歴事項）も必ず記入してください。
②受 験 票 ・ 写 真 票	◎	◎	◎	本要項に添付の所定用紙。所定の箇所に写真（3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもので受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。）をそれぞれ貼ってください。
③成 績 証 明 書	◎	◎	◎	最終出身学校長が作成し、厳封したものとします。
④修了（見込）証明書	◎	◎	◎	最終出身学校長が作成したものを提出してください。 中途退学者は、退学証明書又は在学期間証明書を提出してください。
⑤学 位 授 与 証 明 書	○	○	○	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。
⑥志 望 理 由 書	◎	◎	◎	本要項に添付の所定用紙に必要事項を記入してください。
⑦研 究 計 画 書	◎	◎	◎	本要項に添付の所定用紙に以下の事項を記入してください。 1. これまでの研究成果 2. 今後の研究計画
⑧免 許 証（写）	○	○	○	出願資格⑧及び社会人入試を希望する者で、看護師、助産師、保健師、診療放射線技師又は臨床検査技師の免許証を所持する者（写）
⑨受 験 承 諾 書		○	○	社会人入試を希望する者で、出願時に在職中の者で在職のまま入学を予定している者は、勤務先所属長の作成した受験承諾書（本要項に添付の所定用紙）を提出してください。
⑩外国人住民登録証明書等又は旅券の写し	○	○	○	私費外国人留学生として志願する者は、外国人住民登録証明書（市区町村長が発行したもの。）又は旅券の写しを提出してください。
⑪指 導 教 員 推 薦 書	○	○	○	私費外国人留学生として志願する者のみ。※指導教員に依頼（様式任意）
⑫検 定 料	◎	◎	◎	検定料 30,000 円 検定料を郵便振込の後、受領した「検定料払込証明書（出願用）」を「検定料払込証明書」（本学所定の様式）に貼って提出すること。 ただし、本学大学院研究科・教育部博士前期課程または、修士課程を修了し、引き続き進学する者は不要。
⑬受 験 票 送 付 用 封 筒	◎	◎	◎	郵便番号、住所、氏名を明記し、速達料金の切手（344 円）を貼ってください。（長形3号）
⑭あ て 名 票	◎	◎	◎	本要項に添付の所定用紙に郵便番号、住所、氏名を明記してください。

（注1）◎印は必須、○印は該当者のみ提出する書類です。

（注2）出願資格審査において、その資格を認定された者は、上記③、④及び⑦の出願書類を再提出する必要はありません。

（注3）外国人留学生は、国籍及び在留資格を確認できる書類で証明した氏名を、すべての出願書類について記入してください。

（注4）各証明書の姓が旧姓となっている場合は、現在の姓との関係を証明できる公的文書（戸籍抄本等）を添付してください。

(2) 出願期間

令和5年7月13日(木)～7月20日(木) (土・日・祝日除く)

なお、受付時間は9時～17時までとします。

郵送・持参とも令和5年7月20日(木)17時までに必着とします。

郵送の場合、期限後に到着したものは受理しません。ただし、7月19日(水)以前の発信局(日本国内)消印のある書留速達郵便に限り、期日後に到着した場合でも受理します。

(3) 出願書類の提出

所定の出願書類を用い、**郵送(書留速達)又は持参**により提出してください。(提出先10ページ参照)

(4) 出願上の注意事項

- ・ 出願書類に不備がある場合は原則として受理しません。
- ・ 出願書類の記入にあたっては、黒色ボールペンを使用し、正しく記入してください。インクが消える特性のボールペンは使わないでください。
- ・ 出願後の書類の内容変更はできません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、本学蔵本事務部医学部学務課第二教務係まで連絡してください。
- ・ 一度受理した出願書類及び入学検定料は理由の如何にかかわらず返還しません。
- ・ 受験票は、出願受理後に本人あてに送付します。試験日3日前までに受験票が届かない場合は、本学蔵本事務部医学部学務課第二教務係まで連絡してください。
- ・ 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- ・ 安全保障輸出管理について
徳島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「徳島大学安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から学生の受入れに関して、厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合があります。願書の提出の前に指導教員予定者と相談をするなど、出願にあたっては注意してください。

詳細については以下の研究支援・産官学連携センターのホームページを参照してください。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/active/ip/yusyutsukanri/yusyutsu.html>

7 事前相談

出願希望者は、出願前に、指導を受けようとする教員と連絡を取り、入学後の研究等について必ず相談を行ってください。

- ・ 各領域の概要及び事前相談の連絡先については11～14ページを参照してください。
- なお、不明な点や質問がある場合は、**担当係(10ページ参照)**までお問い合わせください。

私費外国人留学生出願

- ・私費外国人は、応募に際しては、あらかじめ志望する専門の指導教員に照会のうえ出願してください。

・徳島大学留学生ポータル

徳島大学ホームページに、外国に住んでいて徳島大学へ留学を希望している方のために開設した「徳島大学留学生ポータル」サイトがあります。

その中で、大学院入学に必要な手続きについて記載されているところがありますので、以下 URL を参考にしてください。

日本語版：https://www.tokushima-u.ac.jp/isc/admission/graduate_school/

英語版：https://www.tokushima-u.ac.jp/isc/admission/english/graduate_school/

また、研究指導を受けたい各教員の情報（Research Outline）は 11 ～ 14 頁に記載しています。

8 大学院設置基準に基づく授業時間などの特別措置

- ・社会人入試による入学者のために、大学院設置基準第 14 条による昼夜開講制や、夜間その他の特定の時間等を開講する授業や集中講義などを導入しています。

9 入試方法

(1) 入試方法について

- ①一般入試及び社会人入試は学力試験、面接、及び提出書類により総合的に判定します。
- ②私費外国人留学生入試は口頭試問（語学を含む）、及び提出書類により総合的に判定します。

(2) 学力試験について

生涯健康支援学領域

- ・英語は、保健学専攻共通問題を含みます。（個人の辞書は持ち込めませんが、英和辞書をお貸しします。）

医用情報科学領域

- ・英語は、保健学専攻共通問題を含みます。（個人の辞書は持ち込めませんが、英和辞書をお貸しします。）

医用検査学領域

- ・英語は、保健学専攻共通問題を含みます。（個人の辞書は持ち込めませんが、英和辞書をお貸しします。）

(3) 面接について

生涯健康支援学領域

- ・修士論文又は学術論文の内容、専門分野における教育・実践活動の実績、研究能力等に関し複数の面接担当者による面接（口頭試問）を行います。

医用情報科学領域

- ・修士論文又は学術論文の内容、専門分野における教育・実践活動の実績、研究能力等に関し複数の面接担当者による面接（口頭試問）を行います。

医用検査学領域

- ・修士論文又は学術論文の内容、専門分野における教育・実践活動の実績、研究能力等に関し複数の面接担当者による面接（口頭試問）を行います。

10 学力試験の日時及び試験会場等

表4 学力試験日時等（一般入試及び社会人入試）

試験日	試験科目等	時間	領域名			試験場
			生涯健康 支援学	医用情 報科学	医 用 検査学	
令和5年 8月26日(土)	英語	10:30～12:00	○	○	○	徳島大学 保健学C棟
	面接（口頭試問）	13:00～	○	○	○	

(注) ○印は各領域で課す試験科目等を示します。

表5 学力試験日時等（私費外国人留学生入試）

試験日	試験科目等	時間	領域名			試験場
			生涯健康 支援学	医用情 報科学	医 用 検査学	
令和5年 8月26日(土)	口頭試問 (語学を含む)	13:00～	○	○	○	徳島大学 保健学C棟

(注) ○印は各領域で課す試験科目等を示します。

11 合格発表

令和5年9月27日(水) 午前10時

- ・医学部掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。
- ・電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

12 入学手続等

入学手続の概要は次のとおりです。詳細については、合格者に別途通知します。

(1) 入学手続期間

郵送の場合 令和6年2月14日(水)から令和6年2月19日(月)17時必着とします。

持参の場合 令和6年2月19日(月)9時から17時までの時間帯とします。

(2) 入学手続の方法

- ・合格者は、入学手続に必要な書類を郵送（必ず書留又は書留速達で発送してください。締切当日必着）又は持参により提出してください。（提出先10ページ参照）
- ・令和6年2月19日(月)までに入学手続が完了されない場合は、入学辞退として取り扱います。

(3) 入学に要する経費

- ・入学金 282,000円〔予定額〕

ただし、本学大学院博士前期課程または修士課程を令和6年3月に修了し、引き続き進学する者については、不要です。

- ・入学金以外の納付金

学生教育研究災害傷害保険料、後援会費等の次の経費を納付することとなっています。

約60,000円（金額等は別途通知します。）

(注1) 納入した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。

(注2) 授業料 前期分 267,900円〔予定額〕、年額 535,800円〔予定額〕

入学金及び授業料の改定が行われた場合は、改定時から新入学金及び新授業料を適用します。

(注3) 授業料の納入については、希望により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

13 長期履修学生制度について

- ・この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（3年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度です。
- ・なお、修学状況の変動により、長期履修期間を変更することが可能です。
- ・ただし、入学後（在学中）に申請の場合は翌年度からの適用になります。
- ・長期履修期間は、未就学期間の2倍までとなります。

(1) 対象者

職業を有する者又は本研究科が特に必要と認めた者

(2) 長期履修期間

標準修業年限（3年）を、3年を限度として延長することができます。

(3) 申請方法

入学手続き時に徳島大学蔵本事務部医学部学務課第二教務係へ申請書を提出してください。

(4) 結果通知

申請者に対し、入学後に長期履修についての結果を通知します。

(5) 授業料

- ① 年額の授業料算出は、次のとおりです。
本学が定めた金額×標準修業年限（3年）÷許可された修業年限
- ② 授業料の決定は長期履修結果通知時（入学後）に行いますので、長期履修を希望する場合は、入学手続き時に授業料を納入しないでください。
- ③ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。その際は、改めて通知いたします。

14 障がいのある入学志願者との事前相談について

受験上及び就学上の配慮を必要とする者は、あらかじめ大学への相談が必要ですので、令和5年6月16日(金)までに本学へ相談してください。

- ・なお、不明な点や質問がある場合は、下記までお問い合わせください。

《出願書類、出願資格審査書類、入学手続き書類の提出先及び各問い合わせ先》

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町3丁目18番地15

徳島大学蔵本事務部医学部学務課第二教務係

TEL 088-633-9009 (直通)

15 徳島大学ゆめ奨学生について

本学では、社会の様々な分野において活躍できる優秀な人材育成を図るために、返還義務を課さない給付型の奨学金制度があります。

領域・分野の概要

生涯健康支援学領域

分野	専 門	指 導 教 員	研 究 概 要
生涯健康支援看護学	看護教育学	岩佐 幸恵 Tel: 088-633-9005 E-mail: iwasa.yukie@tokushima-u.ac.jp	看護学生を含むすべての看護職者の発達支援とキャリア開発に寄与するために、コーチング、メンタリング、レジリエンスについての研究を行い、看護教育に関するエビデンスの構築を目指す。
	アウトカム管理学	谷岡 哲也 Tel: 088-633-9021 E-mail: tanioka.tetsuya@tokushima-u.ac.jp	患者アウトカムを改善するための学際的チームケアプロセス、看護におけるケアリングとしての技術的能力、病院および様々な医療現場におけるリーダーシップおよび管理の方法など、より質の高い看護サービスを提供するための方法およびシステムについて研究を行う。
		安原 由子 Tel: 088-633-7629 E-mail: yasuhara@tokushima-u.ac.jp	慢性疾患をもつ患者や高齢者の生活の質を高める支援方法やその評価指標について、また看護の基本となるケアリングの現象やその効果に関する研究を行う。
	がん看護学	今井 芳枝 Tel: 088-633-9038 E-mail: imai@tokushima-u.ac.jp	がんに罹患した人やがん治療・療養過程にある人の反応を概念化し、がんと共に生きる人の苦痛緩和、セルフケア能力の促進につながる看護のケア技術開発および体系化に貢献できる研究を行う。
	リハビリテーション看護学	板東 孝枝 Tel: 088-633-7644 E-mail: b.takae.b@tokushima-u.ac.jp	さまざまな治療・療養過程にある人への理解を深め、身体的・心理的な回復促進や早期社会復帰へと繋がる看護支援方法の開発を行い、Quality Of Life (QOL:生活の質)の維持・向上へと繋がる研究を行う。
	地域看護学	岡久 玲子 Tel: 088-633-9977 E-mail: reiko.okahisa@tokushima-u.ac.jp	地域で生活する人々の健康の保持増進と生活の質の向上、多様化・複雑化する地域の健康課題の解決のために、人々や地域のもつ力に焦点をあてた看護実践プログラムの構築と検証に関する研究を行う。
	学校保健学	奥田紀久子 Tel: 088-633-9041 E-mail: okuda@tokushima-u.ac.jp	生涯にわたる健康生活の基盤形成をねらいとした学校保健のあり方を探究する。学校保健の中核的な存在としての養護教諭の実践を検証するとともに、子供の現代的な健康課題とその背景要因としての家族や地域の保健についても広く研究を行う。
	助産学	葉久 真理 Tel: 088-633-9080 E-mail: haku@tokushima-u.ac.jp	助産実践の科学的・理論的な説明と検証、実践をめぐる方法論やケア評価方法の開発などについて研究を行う。

分野	専 門	指 導 教 員	研 究 概 要
生涯健康支援医療学	生殖・更年期保健学	安井 敏之 Tel: 088-633-9023 E-mail: tosyasui@tokushima-u.ac.jp	女性の生涯の健康を考え、支援するために、生涯にわたるホルモンの変化を理解しておくことは重要である。特に、ダイナミックにホルモンが変化する周閉経期にみられる諸症状に対して、予防、治療、支援を行うことが、将来の生活や疾患を変化させ、QOL を高めることができるかどうかについて研究を行う。
	こころの保健学	友竹 正人 Tel: 088-633-9083 E-mail: tomotake@tokushima-u.ac.jp	こころの不健康状態(不適応、不安、抑うつ、不眠など)や精神疾患(うつ病、不安障害、摂食障害、統合失調症、発達障害など)のリスク因子の解明と症状評価法、支援法、予防法に関する研究を行う。
	子どもの発育・発達医療学	森 健治 Tel: 088-633-9082 E-mail: moriken@tokushima-u.ac.jp	子どもの発達障害、特に自閉症や注意欠如多動性障害などの病態を解明し、診断のための生物学的マーカーを明らかにする研究を行う。さらに、早期スクリーニング法の確立、支援方法に関する研究も行う。
	臨床腫瘍保健学	近藤 和也 Tel: 088-633-9031 E-mail: kzykondo@tokushima-u.ac.jp	近年、患者の自己申告による Quality Of Life (QOL) 評価法として Patient-Reported Outcome (PRO) が注目されている。第Ⅲ相大規模臨床試験においても PRO 評価が secondary endpoint の 1 つに設定されている。様々な癌(肺癌、乳癌、食道癌など)の治療法(手術、放射線、化学療法など)の選択に PR-QOL 評価を導入することにより患者中心の医療を発展させていく。

医用情報科学領域

分野	専 門	指 導 教 員	研 究 概 要
医 用 情 報 科 学	先端医用 画像機器 工 学	吉永 哲哉 Tel : 088 - 633 - 9050 E-mail:yosinaga@ tokushima-u.ac.jp	医学診断において画像は重要な役割を果たしており、画像構築法の開発・改良によって診断支援に大きく貢献できる。高品質の再構成画像および有効性の高い診断・治療法を構築することを課題とし、(1)非線形動的特性を積極的に利用した高速・高品質 CT 画像再構成法、(2)非線形力学系の分岐解析に基づく IMRT 計画の設計法、(3)結合神経振動子系の時空間同期現象を用いた画像領域分割法、などを研究開発する。
	核 医 学 治 療 ・ 核 化 学	阪間 稔 Tel : 088 - 633 - 9862 E-mail:minorusakama@ tokushima-u.ac.jp	核・放射化学的手法を中心とし、超重元素の科学、環境放射能、放射線防護学、無機分析化学における先端基礎研究を行う。環境及び生体試料・材料などを分析対象とし、元素・放射能濃度や同位体比に関わる動態研究を行う。さらに、医療分野の品質管理測定システム開発や原子力災害由来の放射性核種の除染技術、粒子・放射線輸送計算コード PHITS の先端応用研究を行う。
	放 射 線 障 害 分 子 医 学	森田 明典 Tel : 088 - 633 - 9052 E-mail:morita@ tokushima-u.ac.jp	放射線を始めとするゲノム障害ストレスに対する細胞の応答機構の解明、および放射線防護や放射線治療成績の向上に資する生物学的制御法について、先端的な生命科学の手法を用いて研究を行う。
	放 射 線 治 療 学	生島 仁史 Tel : 088 - 633 - 9051 E-mail:ikushima@ tokushima-u.ac.jp	難治性がんに対する新規治療戦略を構築するため、個別化医療を推進することを目的とし Biomarker 特に Imaging Biomarker による放射線治療効果予測や放射線治療後の再発予測に関する研究を行う。
	医用画像 物 理 学	芳賀 昭弘 Tel : 088 - 633 - 9024 E-mail:haga@ tokushima-u.ac.jp	私たちの研究室で進められている研究課題は以下の通り； (1) 生成モデルに基づく医用画像再構成に関する研究 (2) 医用画像から極限まで抽出し得る情報について分析し、最新の機械学習を利用した画像診断・治療支援・予後予測に関する研究 (3) 画像生成・画像分析の基礎をなす物理学の研究 (4) モンテカルロ計算モデル（特に重粒子線治療領域の核破碎モデル）の開発
	代謝・機 能 画 像 情 報 学	大塚 秀樹 Tel : 088 - 633 - 9022 E-mail:hideki.otsuka@ tokushima-u.ac.jp	次のようなテーマに取り組んでいる。 ① 核医学的手法を用いた、機能・代謝の観点からの病態解明 ② 人工知能を用いた代謝・機能画像解析

医用検査学領域

分野	専 門	指 導 教 員	研 究 概 要
病 態 制 御 保 健 学	生体機能 解 析 学	遠藤 逸朗 Tel: 088-633-9064 E-mail:endoits@ tokushima-u.ac.jp	代謝性骨疾患やメタボリック症候群の原因となる内分泌代謝異常症の病態解析や新規治療ターゲットの開発を基礎的あるいは臨床的検討により行う。
	微生物・ 遺 伝 子 解 析 学	片岡 佳子 Tel: 088-633-9061 E-mail:kataokakeiko@ tokushima-u.ac.jp	ヒトの健康の保持にはどんな腸内細菌叢が重要なのかを明らかにすることを目標として、1)疾患モデル動物を用いたプレバイオティクスや機能性食品による疾病の予防効果、2)抗菌薬による疾患モデル動物の腸内環境への介入と疾患リスクへの影響、3)食事内容や環境要因がヒトの腸内菌叢の形成過程に及ぼす影響 についての研究を行う。
	分 析 医 化 学	富永 辰也 Tel: 088-633-9063 E-mail:tominaga.tatsuya@ tokushima-u.ac.jp	糖尿病性腎症の発症メカニズムの解析、早期診断方法の開発、新規治療ターゲットの探索を行う。
	腫 瘍 制 御 学	近藤 和也 Tel: 088-633-9031 E-mail:kzykondo@ tokushima-u.ac.jp	胸部の腫瘍（肺癌及び胸腺上皮性腫瘍）の生物学的特性を明らかにし、臨床の診断及び治療にフィードバックすることを目標としています。1) 吸入発癌物質であるクロム酸に暴露した労働者の肺癌のがん関連遺伝子の解析やDNA修復遺伝子hMLHの関与についての研究（University of Kentucky, University of Louisvilleと共同研究）2) 臨床の肺癌症例に酷似した肺癌 SCID マウスモデル（細胞株を同所性に移植）を作成し、放射線・化学療法の効果を研究（LUNAM Universite と共同研究）3) 胸腺上皮性腫瘍の悪性度を評価するがん関連遺伝子の同定やDNAメチル化の検索。（理化学研究所と共同研究）

徳島大学大学院保健科学研究科（博士後期課程）入学願書（令和6年度）

		受験番号 ※	
入試区分	一般入試 ・ 社会人入試 ・ 私費外国人留学生入試 (○で囲んでください。)		
ふりがな			性別
氏名			男 ・ 女
生年月日	年 月 日生 (歳)		
志望領域	生涯健康支援学領域 ・ 医用情報科学領域 ・ 医用検査学領域 (志望する領域を○で囲んでください。)		
志望分野 ・ 専門	分野 専門	指導 予定 教員	事前 相談 実施 月日
受験資格	大学院	年 月 修了・修了見込 大学院 教育部 (研究科) 専攻	
	大学改革支援・ 学位授与機構	修士の学位取得 (年 月) 取得 修士 ()	
	そ の 他		
現住所 (受信住所)	〒 - 電話番号 () - 携帯電話番号 -		
連絡先 (保護者等)	氏名	本人との 続柄	
	現住所	〒 - 電話番号 () -	

※印の欄は記入しないでください。

(切り離して提出してください)

令和6年度

徳島大学大学院保健科学研究科(博士後期課程)

写真票 1

受験番号	※
入試区分	一般入試・社会人入試・私費外国人留学生入試 (○で囲んでください)
志望領域	
ふりがな	
氏名	

(切り離さないでください)

写真貼付欄

最近撮影した、縦4cm × 横3cm、上半身、無帽、正面向きのもの

写真の裏には氏名を明記のこと

(切り離さないでください)

受験番号票

受験番号	※
------	---

(注) ※印欄は記入しないでください。

(切り離さないでください)

令和6年度

徳島大学大学院保健科学研究科(博士後期課程)

写真票 2

受験番号	※
入試区分	一般入試・社会人入試・私費外国人留学生入試 (○で囲んでください)
志望領域	
ふりがな	
氏名	

(切り離さないでください)

写真貼付欄

最近撮影した、縦4cm × 横3cm、上半身、無帽、正面向きのもの

写真の裏には氏名を明記のこと

(切り離さないでください)

令和6年度

徳島大学大学院保健科学研究科(博士後期課程)

受験票

受験番号	※
入試区分	一般入試・社会人入試・私費外国人留学生入試 (○で囲んでください)
志望領域	
ふりがな	
氏名	

【注意事項】

- ※印欄は記入しないでください。
- 受験の際は、必ず本票を持参してください。

写真貼付欄

最近撮影した、縦4cm × 横3cm、上半身、無帽、正面向きのもの

写真の裏には氏名を明記のこと

(切り離さないでください)

履 歴 事 項

氏 名

区 分	年 月	事 項
学 歴 ※(1)	年 月	立 高等学校（中等教育学校）卒業
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
職 歴 ※(2)	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
学会及び社会における活動経験等		

【記入上の注意】

- ※(1) 学歴欄は、高等学校・中等教育卒業後の学歴を自主学習や予備校学習も含め、空白期間のないように記入してください。学部・学科等も記入してください。卒業見込の場合は、卒業見込まで記入してください。
- ※(2) 職歴欄は、勤務部署、職名等まで詳細に記入してください。
また、家事手伝いや無職の期間も記入し、学歴欄同様に空白期間のないように現在に至るまで記入してください。ない場合は、「なし」と記入してください。
- (3) 学歴及び職歴の記入欄が不足する場合は、それぞれに適宜用紙を付け足し記入してください。
- (4) 学会及び社会における活動経験等欄は、経験がある場合、その概要について記入し、経験がない場合は、「なし」と記入してください。

受 験 者 心 得

学力試験日 令和5年8月26日(土)
学力試験場 徳島大学保健学C棟

(一般入試及び社会人入試)

試験科目等	時 間	領 域 名		
		生涯健康 支 援 学 科	医用情報 学 科	医用検査学
英 語	10:30-12:00	○	○	○
面 接 (口頭試問)	13:00-	○	○	○

(私費外国人留学生入試)

試験科目等	時 間	領 域 名		
		生涯健康 支 援 学 科	医用情報 学 科	医用検査学
口頭試問 (語学を含む)	13:00-	○	○	○

学力試験場の開扉…8時30分です。
受験者は、試験開始20分前までに集合してください。

- (注意事項)
- 筆記用具（黒鉛筆、消しゴムなど）を用意してください。下敷・万年筆・ボールペン・色鉛筆等は禁止します。
試験室に時計はありませんので、各自で用意してください。
 - 問題解答に際しては、受験番号を正確に記入してください。
 - 試験開始後30分以上遅刻した者は受験を認めません。
 - 昼食は持参してください。
 - 当日は駐車場がないので、自動車、バイクは入構できません。
 - 盗難防止のため、貴重品は各自で持ってください。
 - 上履きは不要です。

令和6年度 徳島大学大学院保健科学研究科保健学専攻（博士後期課程）

志 望 理 由 書

		※受験番号	
入試区分	一般入試 ・ 社会人入試 ・ 私費外国人留学生入試 (○で囲んでください)		
ふりがな			
氏 名			
	志 望 領 域	志 望 分 野 ・ 専 門	
	領域	分野	専門
専攻への志望動機：			

(切り離して提出してください)

【記入上の注意】

- ※印の欄は記入しないでください。
- パソコン使用の場合は、本様式（A4）にならい、作成してください。

受 験 承 諾 書

所 属

職 名

氏 名

上記の者について、徳島大学大学院保健科学研究科保健学専攻（博士後期課程）の出願を承諾します。

なお、合格の際は、引き続き在職したまま入学することを承諾します。

（切り離して提出してください）

令和 年 月 日

勤 務 先

所 属 長

職・氏名

印

令和6年度 徳島大学大学院保健科学研究科保健学専攻（博士後期課程）
出願資格認定申請書

徳島大学長 殿

氏 名 ⑩

生年月日

住 所 〒

電 話 番 号

携帯電話番号

別添の書類を添付のうえ、下記のとおり認定を申請します。

記

認定を希望する入試区分	一般入試 ・ 社会人入試 ・ 私費外国人留学生入試
認定を希望する出願資格	出願資格⑥ ・ 出願資格⑦ ・ 出願資格⑧
志望分野 ・ 専門	分野 専門
事前相談実施月日	

※該当箇所を○で囲んでください。

様式

研究業績目録

令和 年 月 日

氏名 印

著書・学术论文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (著者名、論文の概要)
【著書】				
【論文】				
【学会発表】				
【その他】				

(切り離して提出してください)

※それぞれの業績の証拠となる資料（写し）についても、あわせて提出してください。

令和6年度 徳島大学大学院保健科学研究科保健学専攻（博士後期課程）

研究計画書

			※受験番号	
氏名				
志望領域	領域	志望分野 ・ 専門	分野 専門	
指導を希望する教員名				
1. これまでの研究成果				
2. 今後の研究計画				

（切り離して提出してください）

【記入上の注意】

- ※印の欄は記入しないでください。
- パソコン使用の場合は、本様式（A4）にならい、作成してください。

検定料の払い込みについて

- 1 検定料を払い込む場合は、必ずこの払込用紙を使用して最寄りのゆうちょ銀行及び郵便局の窓口から払い込んでください。
(ATMは、使用しないでください。)
- 2 検定料を払い込む際には、払込用紙のすべての志願者欄に氏名等を記入の上、切り取り線から払込用紙を切り取り、ゆうちょ銀行及び郵便局の窓口へ検定料に手数料を添えて提出してください。(払込用紙は3連式ですので、切り離さないでください。)
- 3 検定料を払い込んだ際には、日附印が押印された「検定料払込証明書(出願用)」を必ず受領してください。
- 4 「検定料払込証明書(出願用)」は、「検定料払込証明書」の指定の欄に貼付して願書に添付して提出してください。
- 5 この払込用紙の「振替払込請求書兼受領証」をもって国立大学法人徳島大学の領収証書に代えさせていただきますので、別に領収証書を送付することはありません。

切り取り線

払込取扱票

00	口座記号番号	千	百	万	千	百	十	円
016300	92535	3	0	0	0	0	0	0
加入者名	国立大学法人 徳島大学							
通信欄	令和6年度大学院保健科学研究科保健学専攻(博士後期課程) 検定料							
志願者	おところ(郵便番号))							
おなまえ	様							
(電話番号))							
日								附
印								

各欄の※印欄は、志願者において記載してください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)承認番号徳第4381号
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	千	百	万	千	百	十	円
016300	9	2	5	3	5		
加入者名	国立大学法人 徳島大学						
金額	千	百	万	千	百	十	円
おなまえ	3	0	0	0	0	0	0
志願者	様						
料	(消費税込み)						
金	円						
備考							
日							
附							
印							

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

切り取らないで郵便局にお出しください。

検定料払込証明書(出願用)

口座記号番号	千	百	万	千	百	十	円
016300	9	2	5	3	5		
加入者名	国立大学法人 徳島大学						
払込金額	千	百	万	千	百	十	円
志願者	3	0	0	0	0	0	0
住所氏名	※						
日							
附							
印							

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはつきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
5万円以上
貼付
印

この場所には、何も記載しないでください。

大学院保健科学研究科
保健学専攻(博士後期課程)志願者用

受験番号

(大学記入欄)

検定料払込証明書

「検定料払込証明書（出願用）」貼付場所

(切り離して提出してください)

あ て 名 票

合格通知等を受け取る住所、氏名、郵便番号を3箇所記入すること。
団地・アパート等に居住している者は、棟番号、戸番を入れ、間借りをしている者は、「〇〇様方」と詳しく記入すること。
なお、出願後、又は合格発表後、住所変更した場合は、速やかに届け出ること。

合格通知等用→

住所

氏名

殿

受験番号（大学記入欄）

合格通知等用→
（予備：上記と同じ
あて名を記入すること）

住所

氏名

殿

受験番号（大学記入欄）

入学手続案内用→
※必ず受け取ること
ができる住所
を記入すること

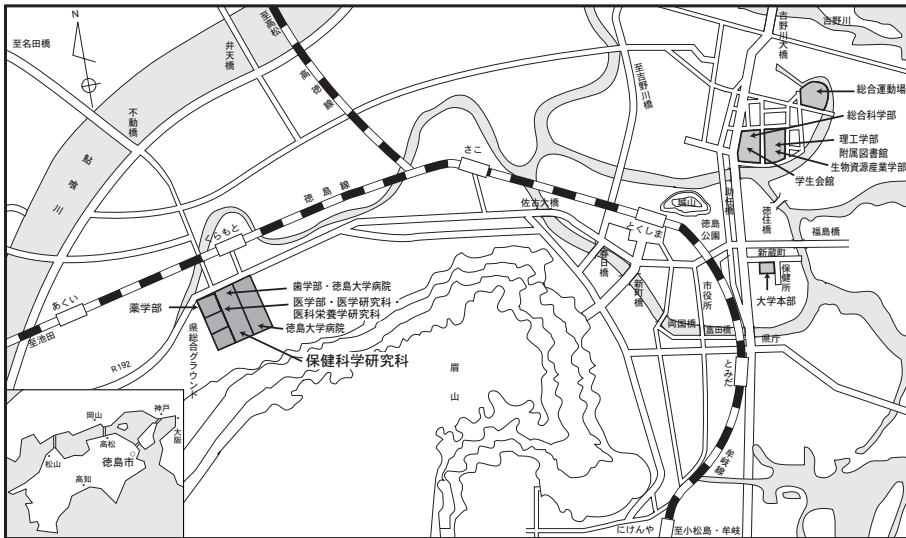
住所

氏名

殿

受験番号（大学記入欄）

【徳島大学大学院保健科学研究科位置図】



交通アクセス

◎航空機



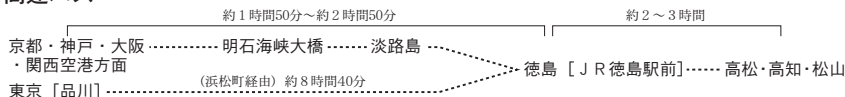
交通アクセス



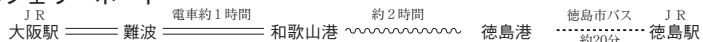
◎鉄道



◎高速バス



◎フェリーポート



徳島市営バス乗場案内 (JR徳島駅から試験場へ)

のりば	行先	備考
1	中央循環線 (右回り) 上船	「県立中央病院・徳島大学病院前」下車 徒歩 3分 又は「総合メディカルゾーン」下車 徒歩 2分
	名東、地藏院、天の原西 (延命)	「医学部前」下車 徒歩 2分

徳島駅から医学部まで.....約4km

【徳島大学蔵本地区建物配置図】

